



ミナセンなかどおり通信

2022年5月6日

TEL 080-5732-3942
fax 024-953-2895
nakajiryochi@rainbow.plala.or.jp

ロシアのウクライナ侵略に乗じた憲法改悪と軍備拡大をとめよう！

「改憲発議許さない！守ろう平和といのちとくらし2022憲法大集会」に15,000人



「侵略・改憲に抗議」
5.3集会実行委員
菱山南帆子さん

「暮らしを守る9条」
ジャーナリスト
竹信三恵子さん

「ロシアの侵略・改憲論に抗議」

ロシアのウクライナ侵略は、武力による威嚇・行使を禁じた国連憲章違反であり、直ちに撤退すべきです。これに乗じた改憲と「核共有」論は日本を際限のない軍拡競争に引きずりこみ、壊滅的な戦争の勃発を招きかねません。この道は日本がかつて歩んだ道です。憲法9条を掲げ世界の市民とともに平和をつくり出すたかひに全力を挙げて取り組みます。

「暮らしを守る9条」

戦前の日本は、日清戦争以降ほぼ10年おきに戦争をしています。その中で、軍事費が国家予算の7、8割を占めるようになっていました。憲法9条は不戦の誓いであると同時に、国のお金を軍事ではなく、社会保障など私たちの生活のために使う仕組みなのです。

それがいま崩されています。非正規雇用の増加などで社会保障が機能せず命を落とす人がいるのに、自民党の安保提言では軍事費をGDP（国内総生産）の2%まで引き上げるといっています。私たちの生活を考えるからこそ、9条をなくしてはいけません。

「中距離ミサイル、北海道に配備を」 自民・佐藤正久外交部会長

自民党は4月、相手国がミサイルを発射する前にその拠点などをたたく「反撃能力の保有」などを政府に提言したが、佐藤正久外交部会長は米シンクタンクのイベントで、中国やロシア、北朝鮮のミサイル攻撃を抑止するために、地上発射型の中距離ミサイルを北海道に配備すべきだとの考えを示した。後先考えぬ好戦家らしい発言だ。彼らの思い通りにさせてはならない！

◎「第18回 ミナセンなかどおり相談会」

■5月7日(土)午前10時～郡山教組会館(桑野-2-33-9)

反戦平和・改憲阻止運動、参議院選のとりくみなど

◎「ロシアは撤退せよ！戦争させない！憲法9条守ろう！」駅前行動

■5月7日(土) 午後1時～ 郡山駅前ヨドバシカメラ前